

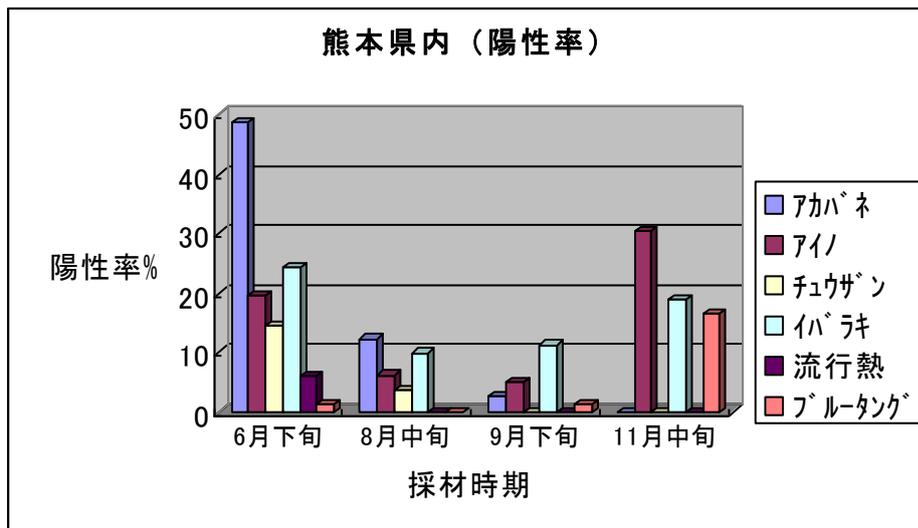


## 平成17年度アルボウイルス動態調査成績

毎年、県内の家畜保健衛生所では、牛のアルボウイルスによる異常産の発生予測やウイルスの動きを把握するために、年4回（6.8.9および11月）、未越夏子牛の抗体検査を行っています。本年度の検査結果が出ましたのでお知らせします。

牛のアルボウイルス感染症には、アカバネ病、イバラキ病、チュウザン病、アイノウイルス感染症、牛流行熱およびブルータンクなどがあります。これらは、通常初秋から翌年の春にかけて発生がみられ、異常産を起こすことが多く、主な症状として流～死産、虚弱、起立不能、体型異常（脊椎・四肢の彎曲）および盲目などが認められます。

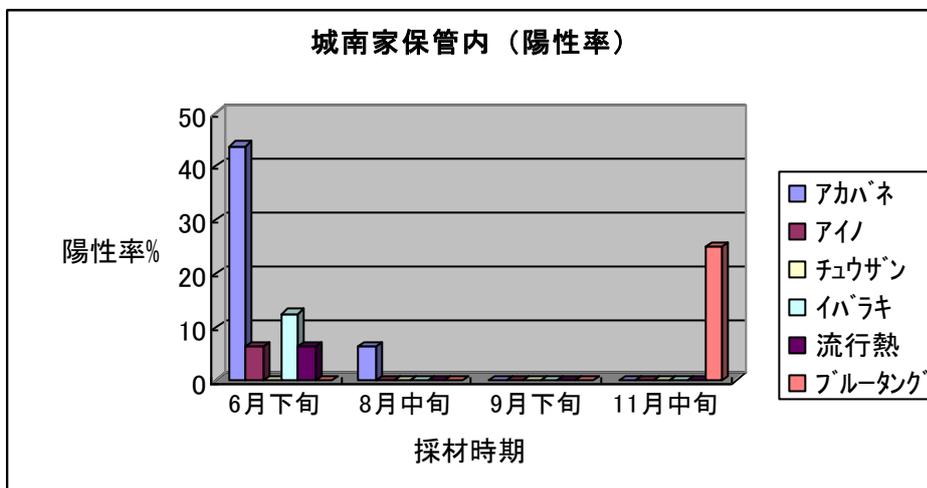
### ■ 熊本県内陽性率の推移



県内ではアイノウイルスとブルータンクウイルスの動きが認められました。

アイノウイルスは本県では、2年ぶりの活発な動きであり、今春にかけて異常産の発生が心配されます。

### ■ 城南家保管内の陽性率推移



城南家保管内では、ブルータンクウイルスのみ動きが認められました。

しかし他の家保管内においてアイノウイルスの動きが認められたことから、同様にアイノウイルスによる異常産の発生が心配されます。

## ■ 予防対策

本年度の検査結果からアイノウイルスとブルータングウイルスの動きが認められました。アイノウイルスは、2年ぶりの活発な動きであり、今春にかけて異常産の発生が心配されます。これらアルボウイルス感染症によるウイルス性異常産の被害を最小限に抑えるためには、媒介昆虫(カ、ヌカカなど)の駆除はもとより、的確なワクチン接種を行うことが重要です。

\* 牛ウイルス性異常産3種混合ワクチン（アカバネ、アイノ、チュウザンウイルス）

および牛イバラキ病・流行熱混合ワクチンの接種について

- 1) 接種時期：毎年4月から6月頃まで（吸血昆虫が活動する前まで）
- 2) 接種回数：初めて接種する牛は、4週間隔で2回接種。その後は1回接種。
- 3) 申し込み：市町村担当課
- 4) お問い合わせ：市町村担当課、城南地区家畜自衛防疫促進協議会および家畜保健衛生所

## <お知らせ>

「牛疾病（呼吸器病および子牛の下痢症）対策講習会」を開催します！

- 1) 開催日時：平成18年3月8日（水）14:00～16:00 まで
- 2) 開催場所：熊本県球磨地域振興局 大会議室  
人吉市西間下町 86-1 TEL (0966) 24-4111
- 3) 内 容：
  - (1) 牛異常産ウイルスの動きについて  
城南家畜保健衛生所
  - (2) 「子牛の成長を守る」 ～下痢と肺炎の予防について～  
牛5種混合ワクチン（呼吸器病、下痢症）を応用した予防対策  
(株)微生物化学研究所 佐々木 修 先生
- 4) 質疑応答

**ご不明な点は、城南家畜保健衛生所まで**

**TEL 0966-22-3814 FAX 0966-22-3617**